

第 15 回名古屋産業大学学位記授与式

第 52 回名古屋経営短期大学学位記授与式

学長式辞

尾張旭のキャンパスの梅が満開を迎えた、春まぢかの今日の良き日に学位記授与式に臨まれる卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。また、長年にわたりお子様を見守り、支えてこられましたご家族、保護者の皆さまにおかれましては、感激もひとしおのことと、心よりお喜び申し上げます。

また、ご来賓の皆さまには大変お忙しい中、ご臨席を賜り、名古屋産業大学、名古屋経営短期大学の学位授与式を盛大に執り行うことができますことを、心より感謝申し上げます。

そして、何よりも日々熱心に学生らに心をこめて愛情を注ぎ、学生らの強みを活かした職業教育にご尽力いただいております教職員の皆様にも改めて感謝を申し上げます。

本日、名古屋産業大学、現代ビジネス学部 88 名、大学院の博士前期課程を修了される 6 名。

名古屋経営短期大学、未来キャリア学科 75 名、子ども学科 30 名、健康福祉学科 24 名の計 223 名が卒業されます。晴れてこの日を迎えられる皆さんに、心より門出の祝福を送りたいと思います。

今年度の学位記授与式は、大学創立 18 年、短期大学は半世紀を超える歴史の中で、初めての合同卒業式を挙げる運びとなりました。最近では、愛情教育や実践教育を大学、短大で相互に展開していく中で、双方の教職員、学生の交流も深まってまいりました。講義だけではなく、部活動や合同開催のイベント、ボランティア、行事も数多く実施してきました。

同じ学び舎で学んだ仲間と祝っていただきたいという願いも込めて、初めて挙げる事になりました。

さて、大学の学部生の皆さんは 4 年前、短大子ども学科の皆さんは 3 年前、院生、未来キャリア学科、健康福祉学科の皆さんは 2 年前、このキャンパスに入学され、それぞれ思い出に残る青春の日々を過ごされたことと思います。

4 年前というと、ロシアでソチオリンピックが開催され、浅田真央さんが再挑戦しました。消費税が 5% から 8% に上がり、名古屋から近い御嶽山が大噴火し、大勢の人に被害をもたらしたのもこの年です。名古屋の物理学者 2 人が、ノーベル物理学賞を受賞、みなさんになじみのあるアップルのスマートフォン、アイホン 6 が発売された年でもあります。振り返るとあつという間ではなかったでしょうか。

皆さん、どのような学生生活を送られましたか。どのような思い出が一番心に残っていますか。また、心に響きましたか。是非、この瞬間に学生生活を振り返っていただきたいと思います。

入学の時、自分で学びの方向性を決めるマイカリキュラム、ゼミの先生と少人数で学ぶ学修方法に、高校時代とは違う、新鮮さを覚えたと思います。

また、様々な分野で社会の一線で活躍された先生方から学んだ、実践教育、職業教育を通して数多くの気づきがあったことでしょう。

皆さんが社会に出てから活躍していただくために、将来に向けて創造する力、自立する力を身につけてもらいたいと日々常々願い、カリキュラムの中にインターンシップや実習、資格取得科目を幅広く取りいれました。

企業インターンシップ、長野県阿智村や三重県美杉村での農山村インターンシップをはじめ、尾張旭市などの役所や団体でのインターンシップ、海外インターンシップ。その経験をまとめた報告会では、皆さん一人ひとりが、働くことの大切さやコミュニケーション能力を向上させたことが伝わってきました。

短大の皆さんは、目的意識を持って猛勉強し、その頑張りで見事、国家資格をはじめ、多くの資格を取得された方、フィールド別学習で、医療事務、情報、観光、美容、健康スポーツ分野での専門知識を修得し、自信が付いた方も多くいらっしゃると思います。観光の知識を評価された学生が、尾張旭市観光協会に就職して活躍し、後(あと)に続く後輩らの良き見本となっている例もありました。

子ども学科、健康福祉学科の皆さんは、幼稚園や保育園、それに高齢者施設などでの実習で、園児や高齢者の目線に立って接することの大切さを実感したことでしょう。手作りの紙芝居や絵本の読み上げで、園児たちを大喜びさせ、保育の力をつけていました。

そして、子ども学科では、初めて尾張旭市の保育園教諭に採用されるという大きな喜びもありました。

健康福祉学科の皆さんは、地域連携事業にて、地域の高齢者とノルディックウォーキングを通して交流し、高齢者の方々から温かい言葉をかけていただいたときの皆さんの笑顔はとても輝いていたことも大変印象的です。

その他にも、学業、部活動、サークル、ボランティア、海外研修、大学祭などの学校行事などで活躍された方も多くいらっしゃいました。

1週間前の3月11日、東日本大震災から7年が経ち、大学短大の合同ボランティア隊が、今年度も宮城県気仙沼市で活動しました。私も3/11に合流し、気仙沼市の追悼式典などに参列いたし

ました。参加した学生たちは、被災者の言葉に涙し、海が見える山沿いに桜を植える植樹を熱心に取り組み、命の尊さを学ばれたと思います。まさに実践教育そのものだと、私は大きな感銘を受けました。

また、名古屋産業大学では3年前から、スポーツビジネスコースを設置し、スポーツの拡充に力を入れています。ウエイトリフティング部は全国レベルで大きな活躍し、オリンピック候補選手も所属しています。ボウリング部、ボクシング部も好成績を上げ、野球部やサッカー部も上位で活躍しています。

そして、良き思い出となる合同大学祭では、学友会のリーダーシップのもと学生の皆さんの盛り上がりは、大変素晴らしいものでした。

多くの卒業生が特筆(とくひつ)すべき活躍をされたと思います。在学中の多くの経験は、これからの皆さんの人生の大きな糧になると信じています。

皆さんは、講義や実習を通して身に付けた資格、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力など、社会で活躍するための即戦力の基礎を修得されました。

また、絆活動、スポーツ大会、ゼミ活動、ボランティア活動などで築かれた、チャレンジ精神や主体性、協調性、行動力など生きるための人間的資質、企画発想力などのビジネススキルも磨かれました。

十分に新しい時代を生き抜く力を持ってみえます、自信を持って、明日からの一步を踏み出して下さい。

みなさんは明日から、実社会に巣立っていかれます。これから日本は、2年後の東京オリンピックを目標に、インターネット情報社会と人工知能とを組み合わせ、ロボットの時代が加速されることでしょう。

この東海地方でもすでにマイカーの自動運転の実験が始まり、実用化の一步手前まで来ています。その一方で単純労働の半分はロボットに変化するとも言われています。

社会に巣立てば、数々の壁や困難に直面することも少なくありません。実社会の荒波を乗り越えられるか不安を感じることも多いでしょう。

そのような時、本学で学ばれた実践教育、先生方から受けた愛情が皆さんを助け、困難に立ち向かうときの大きな力になると信じています。

結びに、私が感銘を受けた言葉を一つお伝えします。IT産業のトップメーカーの一つ、「京セラ」の創業者である稲森和夫さんの言葉です。それは、「素晴らしいチャンスは、ごく平

凡な情景の中に隠れています。しかしそれは、強烈な目的意識を持った人の目にしか映らないものなのです」というものです。もう一度言います。「素晴らしいチャンスは、ごく平凡な情景の中に隠れています。しかしそれは、強烈な目的意識を持った人の目にしか映らないものなのです」というものです。

目的意識を持って着実に一歩ずつ、人に流されずしっかりと努力し、夢や希望を叶えて下さい。

愛情教育と実践教育で得た社会で生きる力で未来の可能性を切りひらき、これからの皆さんの人生が愛情にあふれ、輝かしい日々となりますよう、心より祈りまして、私からのお祝いの式辞といたします。皆さんに会えて本当に良かったです。これからも応援しています。本日は誠におめでとうございます。

平成 30 年 3 月 17 日

名古屋産業大学 名古屋経営短期大学学長 高木弘恵